

水稲用一発除草剤

トリニティ[®]

1キロ粒剤・フロアブル ®は登録商標

安全性の高い有効成分「イプフェンカルバゾン」
ノビエに対して約70日間の
長期残効性!!



石原バイオサイエンス株式会社

特長



ノビエに対する長期残効性

有効成分イブフェンカルバゾンがノビエの発生を長期間抑えます



SU抵抗性雑草に有効

SU抵抗性雑草(ホタルイ、コナギ、アゼナ類等)に高い効果を示します



多年生雑草に有効

ウリカワ、ミズガヤツリ等に高い効果を示します



1キロ粒剤1kg



フロアブル500ml

トリニティ

イブフェンカルバゾン

イブフェンカルバゾンはノビエに対し2.5葉期までの処理で高い効果を示します。

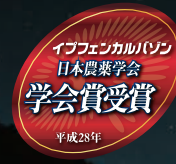
ノビエに対して約70日間の長期残効性を有します。

水稲に対する安全性が高く、田植同時処理に最適な有効成分です。



イブフェンカルバゾン

イブフェンカルバゾンのシンボルマーク
中央の「i」はイブフェンカルバゾンの頭文字。
その周りの点は、ノビエに対する約70日間の
長期残効をイメージしてデザインされています。



イブフェンカルバゾン
日本農薬学会
学会賞受賞
平成28年

北興化学工業株式会社は
イブフェンカルバゾン開発により、
2016年日本農薬学会業績賞(技術)を
受賞しました。

有効成分と含有量

		イブフェンカルバゾン	テフリルトリオン	ベンスルフロンメチル
除草剤分類		15	27	2
含有量	1キロ粒剤	2.5%	2.0%	0.75%
	フロアブル	5.0%	4.0%	1.4%

物理的特性

	イブフェンカルバゾン	テフリルトリオン	ベンスルフロンメチル
構造式			
性状	白色固体	淡黄色粉末	白色固体
融点	133.8~137.3℃	113.7~115.4℃	179℃
水溶解度	0.515mg/L (20℃)	64.2g/L (pH7、20℃)	6.65mg/L (20℃)
土壌吸着係数(Koc)	484~27,700	108~1,226	1,075~4,826



殺草スペクトラム

トリニティ剤の主な雑草に対する殺草スペクトラムは以下の通りです。

	処理時期	ノビエ	カヤツリグサ科	コナギ	アゼナ類	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ
イブフェンカルバゾン (25 ga.i./10a)	発生前	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	×	×	×
	ノビエ2.5葉期	◎	◎	△	△	△	×	×	×	×	×	×
テフリルトリオン (20 ga.i./10a)	発生前	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○
	ノビエ2.5葉期	×	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	○	○
ベンスルフロンメチル (7.5 ga.i./10a)	発生前	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ノビエ2.5葉期	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○
トリニティ剤	発生前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*	◎*
	ノビエ2.5葉期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○

効果：◎極大、○大、△中、×小

*必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用してください。

各草種に対する殺草症状

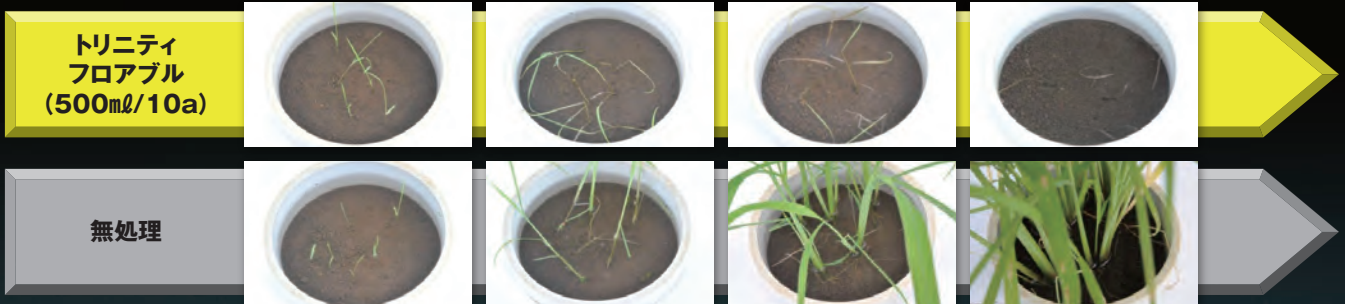
【ノビエ2葉期処理】

処理時

処理11日後

処理18日後

処理29日後



2014年 北興化学工業株式会社開発研究所 ポット試験

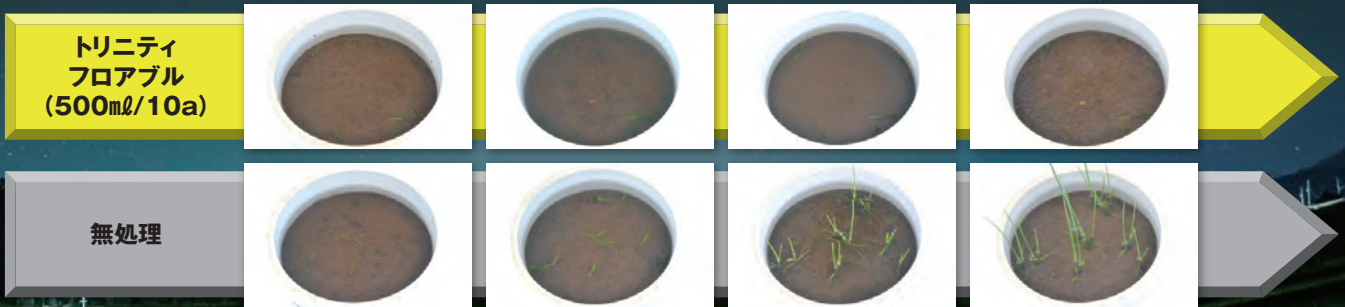
【ホタルイ2葉期処理】

処理時

処理5日後

処理16日後

処理23日後



2014年 北興化学工業株式会社開発研究所 ポット試験

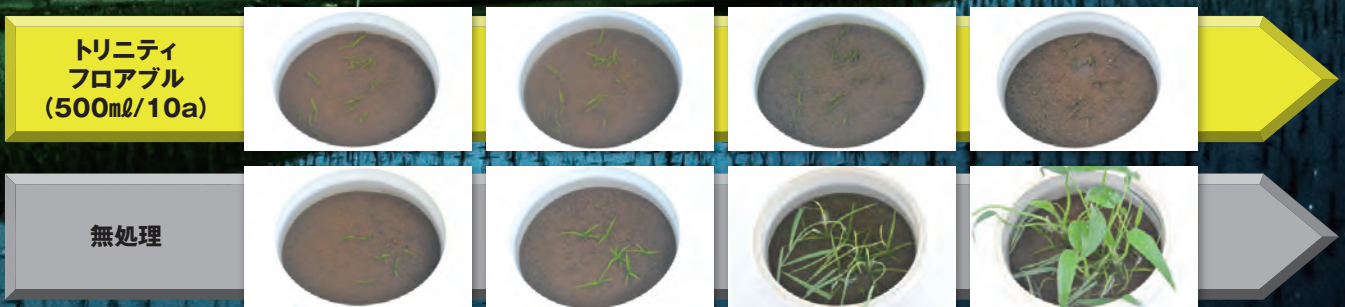
【コナギ2.2葉期処理】

処理時

処理5日後

処理16日後

処理23日後



2014年 北興化学工業株式会社開発研究所 ポット試験

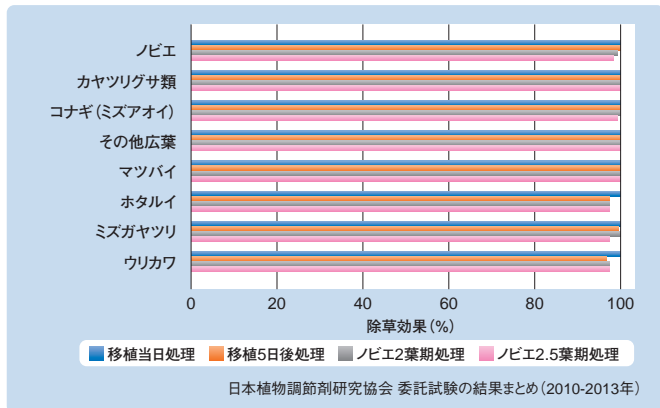


除草効果と水稻に対する安全性

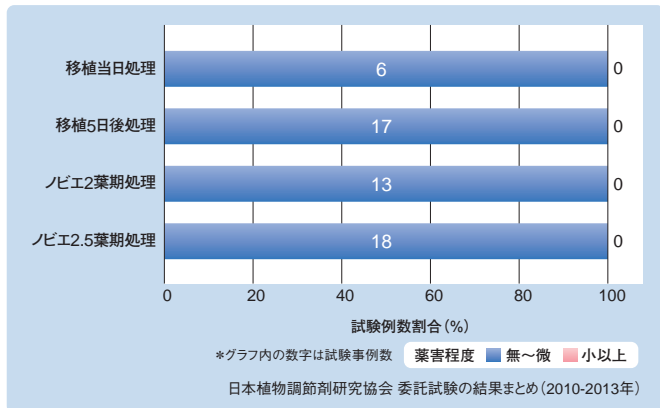


トリニティ剤は、移植当日処理からノビエ2.5葉期処理までのいずれの処理時期でも各種雑草に対して高い効果を発揮し、また、移植水稻に対して十分な安全性を示します。

《除草効果》トリニティフロアブル



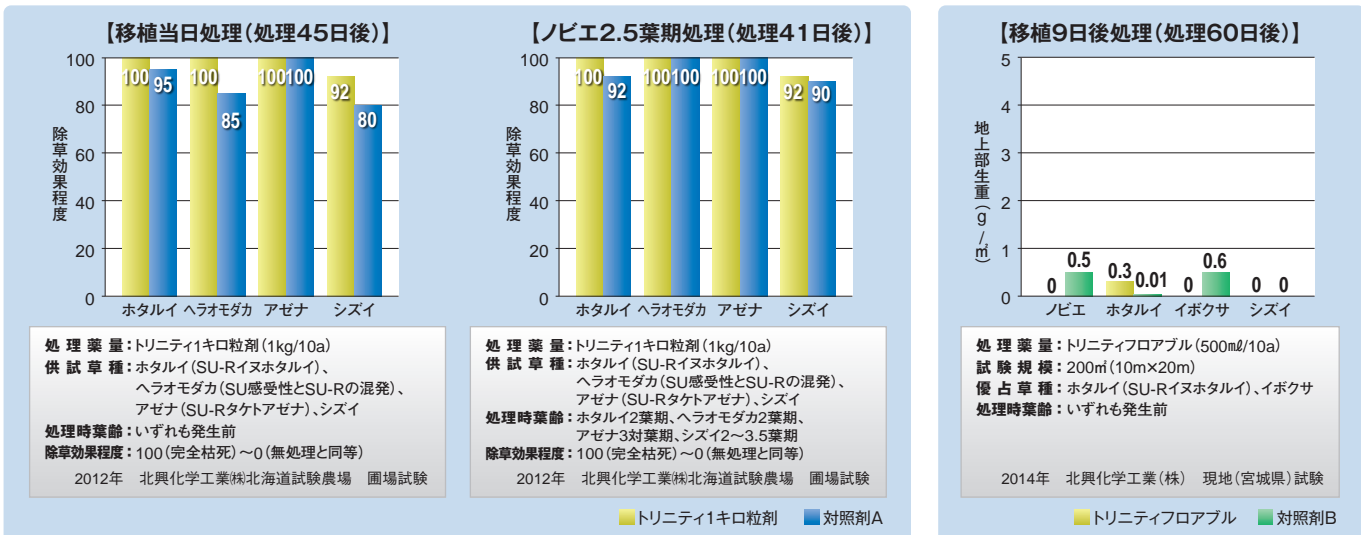
《水稻に対する安全性》トリニティフロアブル



SU抵抗性雑草に対する除草効果



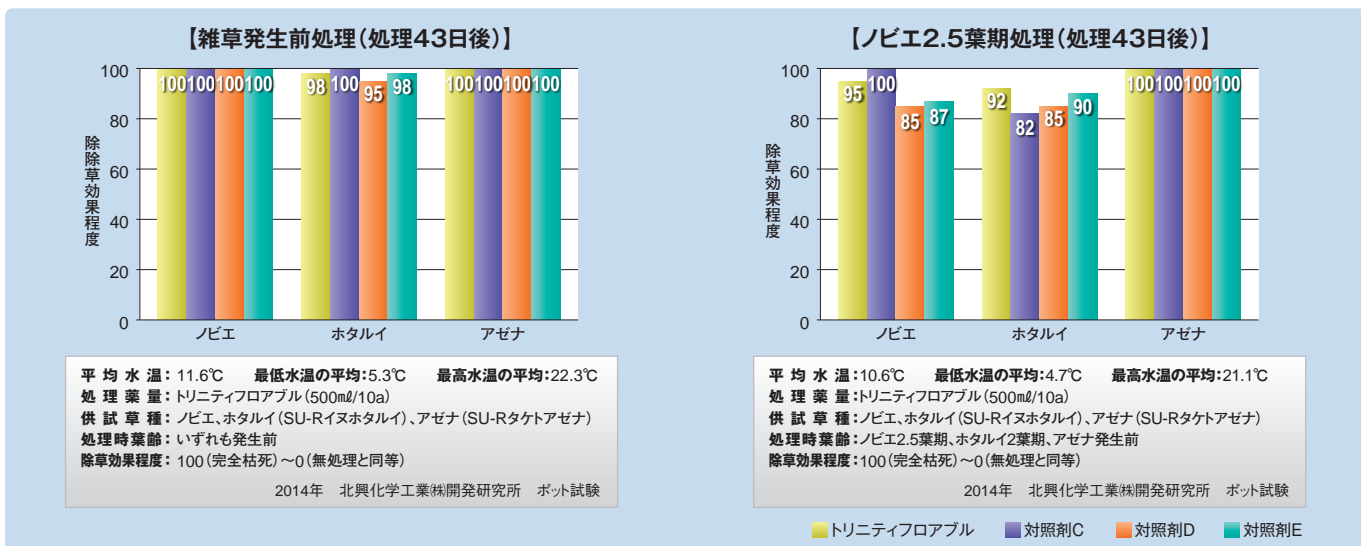
トリニティ剤は、各種のSU抵抗性雑草(SU-R雑草)やシズイ、イボクサなどに対して高い効果を発揮します。



低温条件での除草効果



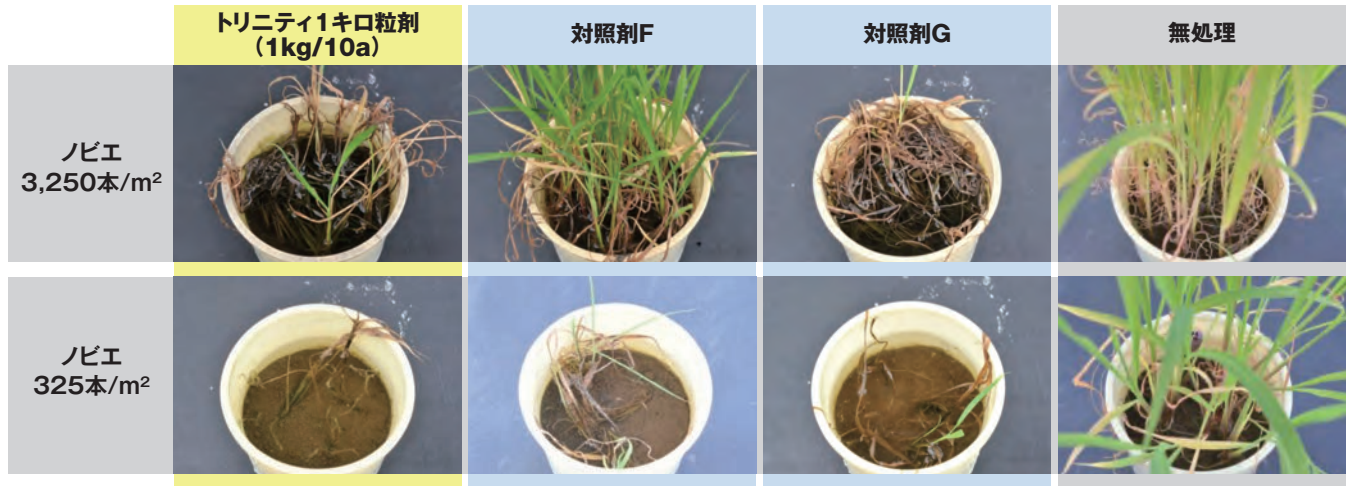
トリニティ剤は、低温条件でも雑草発生前からノビエ2.5葉期までの処理で各種水田雑草に対して高い効果を発揮します。



発生密度別のノビエ2.5葉期に対する除草効果



トリニティ剤はノビエの発生密度が高い状態でも優れた除草効果を示します。



処理33日後撮影

2014年 北興化学工業(株)開発研究所 ポット試験

社内自主試験事例

■最終調査: 移植2日後処理: 処理81日後、移植13日後処理: 処理70日後

			ノビエ	カヤツリグサ	ホタルイ	その他 広葉雑草
対無処理区 残草量	トリニティ1キロ粒剤 (1kg/10a)	移植2日後処理	0%	0%	0%	0%
		移植13日後処理	0%	0%	0%	0%
	対照剤H	移植2日後処理	0%	0%	0%	0%
		移植13日後処理	0%	0%	t*	t*
無処理区の各雑草乾燥重量 (g/m)			5,398	771	1,285	1,029

* tは残草量1%未満を意味する

実施場所: 宮城県名取市内
 供試薬剤: トリニティ1キロ粒剤 (1kg/10a)、対照剤H (1kg/10a)
 試験規模: 6m (3×2m)、2反復
 発生雑草: ノビエ、カヤツリグサ、ホタルイ、広葉雑草(アゼナ、ミノハコベ)
 調査方法: 試験区内 (1m相当に換算) の雑草の乾燥重量を測定

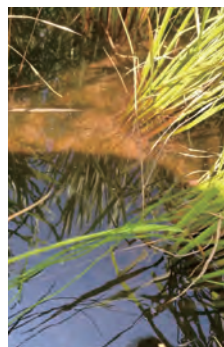
試験日程: 植 代: 5月2日
 移 植: 5月6日 (植代4日後)
 薬剤処理: 5月8日 (移植2日後) または 5月19日 (移植13日後)
 抜取調査: 7月28日 (移植2日後処理の場合処理81日後、移植13日後処理の場合処理70日後)

2023年 石原バイオサイエンス(株) 社内自主試験

■最終調査時の様子



トリニティ1キロ粒剤
(移植2日後処理)
処理81日後



トリニティ1キロ粒剤
(移植13日後処理)
処理70日後



対照剤H
(移植2日後処理)
処理81日後



対照剤H
(移植13日後処理)
処理70日後



無処理区

トリニティ1キロ粒剤区はいずれもノビエの後発生はみられませんでした



トリニティ1キロ粒剤の長期残効性を確認しました

上手な使い方



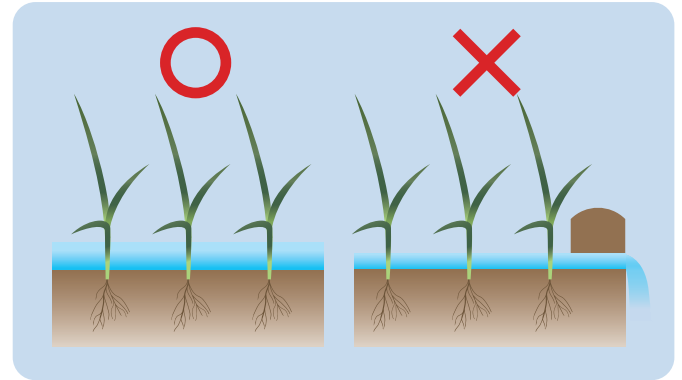
散布の前に

苗の植え付けが均一になるように、代かきは丁寧に
行ってください。また、未熟有機物を施用した場合は
特に丁寧に行ってください。



散布時

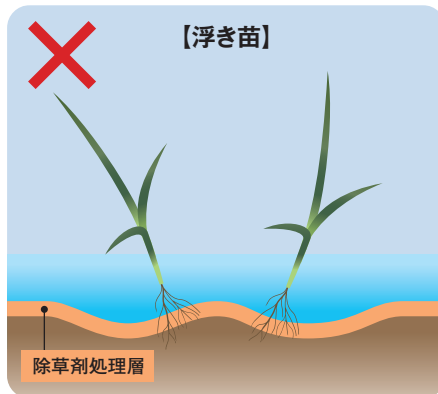
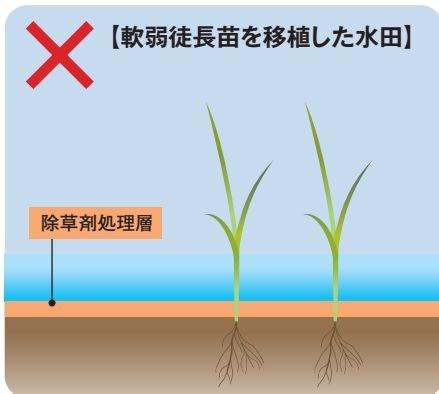
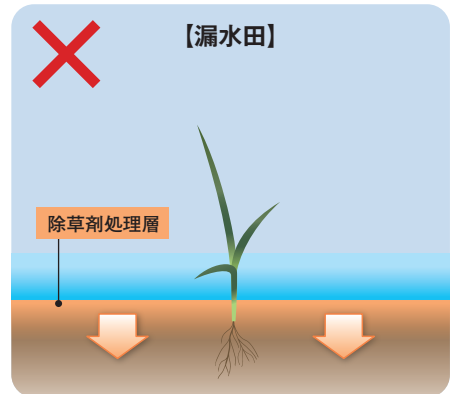
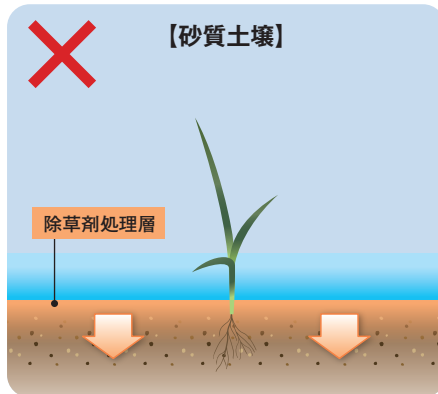
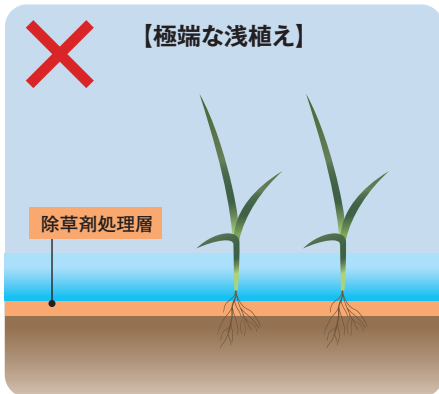
水の出入りを止めて、湛水のまま散布してください。
散布後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、
散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。



安全使用上のポイント

水田に散布されたトリニティ剤の有効成分は、いったん田面水に溶けてから土壌表面に吸着され、除草剤処理層が
形成されます。通常、水稻の根部は処理層の下にあるため、薬害が出ませんが、下のイラストのように処理層に水稻の根
が触れやすい条件や、軟弱徒長苗を移植した水田では、水稻に影響が出る場合があります。

【水稻に影響が出る条件】



●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は2024年11月時点での知見に基づいて作成しています。

ISK 石原産業株式会社

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

ホームページの製品情報へ



1キロ粒剤



フロアブル